

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	蒲郡市	代表者名	鈴木寿明
担当者部署	デジタル行政推進課	連絡先電話番号	0533-66-1209
担当者役職	主事	担当者氏名	大森麻子
住所	443-8601 愛知県蒲郡市旭町17-1		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	廣川 聡美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	当市からの依頼事項を盛り込んだご講演内容で、わかりやすくご説明いただいた。
アドバイザー への要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月18日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（管理職）	53人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	蒲郡市スマート市役所改革推進のため、推進本部の設置・担当課の新設（デジタル行政推進課）・各課1名の業務改革推進委員設置などを行ったが、形式的な推進体制構築となっており、全庁的な改革推進に向けた職員の意識改革が進んでいない。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	自治体DX・スマート市役所改革に対する理解及び改革意識の向上	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	①自治体DXの目的と意義 ②自治体DX推進計画の概要 ③自治体DXの推進事例 ④管理職はどう向き合うべきか？ という項目で管理職向けにご講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	DXというあいまいな言語に対する共通認識を持つことができた。 DXの背景にある自治体のおかれた状況について理解が深まった。 改革を進めていくうえでの管理職の役割について考えていただくきっかけとなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	特になし	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	別添のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	経営資源の制限が見込まれる将来においても質の高い行政サービスを提供することができる持続可能な体制づくり	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

**自治体デジタル化の課題**

(2) **業務システムやプロセスの標準化の遅れ**

- 同じ業務なのに異なるシステム、業
- システム仕様も、データ形式も独自
- ほぼ特注品なので、初期経費も更
- 他社製品に乗り換えるにも、多額の  
と手間が必要となり、替えにくい
- 共同化(自治体クラウド等)の取り組  
きたが、道半ば

→ システム/プロセスの  
システム基盤の共通

**3 課題解決のために 自治体DX推進が必要**

自治体DXとは？

単に、デジタル技術を活用して、業務の生産性や効率性を改善することだけではなく、

↓

デジタル技術を駆使して、自治体経営のあり方や住民との関係、組織風土や文化、組織マネジメント職員の働き方などを根本的に

技術導入が目的ではない

技術を進む

技術導入を機に、それを積極的に進めないと、

**消防 伊東**

Copyright 2021 Saitou Hirokawa